

暑さ対策として新国立競技場に設置された空気の循環を促す「気流創出ファン」= いずれも3日午前、東京都新宿区



報道陣に公開された新国立競技場の建設現場

暑さ対策に送風設備

2020年東京五輪のメイン会場となる新国立競技場（東京都新宿区）の建設工事現場が3日、報道陣に公開された。日本スポーツ振興センター（JSC）によると屋根、47都道府県の木材を使用した軒ひさしは工事が完了。11月末の完成予定に向けて工事は9割程度まで進んでいる。

今月中にフィールドに芝を敷き、8〜9月に陸上トラックを仕上げる。観客席は全体の約7割強にあたる約4万5千席が完成。暑さ対策として、観客席に風を送る「気流創出ファン」が計185台、ゲート付近の8カ所にはミスト冷却設備が設置される。JSCによると、中央部が空洞の屋根は観客席最前列の約12ヶ前方までをカバー。担

当者は「観客のほとんどは日陰に入る。体感温度が10度くらい下がるとのシミュレーションがある」と説明した。12月中旬に竣工式が行われ、初の一般公開となるオープニングイベントを同21日に開催。6万人の観客を想定し、チケットは抽選販売で8月下旬に開始予定。

新国立9割完成

木材ふんだん五輪メイン会場

12月一般公開

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【 】

① 新国立競技場はどこで建設されていますか？

[]

③ 工事が完了している軒ひさしにはどんな材料が使われていますか。

[]

② 新国立競技場では暑さに対してどのような対策が取られますか。下の説明の□に適する語や数字を入れましょう。

④ 新国立競技場には中央部が空洞の屋根がつけられています。この屋根にはどんな効果があると説明していますか。

[]

観客席に風を送る □
が □ 台、ゲート付近の □ 力所
には □ が設置される。